Oita Prefectural Government
大分県

Press Release

令和６年９月４日

日本脳炎の感染に注意しましょう

１　概要

県では日本脳炎の流行予測を目的として、６月から９月にかけてブタの日本脳炎ウイルス抗体検査を行っています。

令和６年８月２１日に調査したブタ１０頭のうち、３頭から日本脳炎ウイルスに最近感染したことを示す抗体が検出されました。日本脳炎ウイルスは感染したブタを吸血した蚊によって媒介され、ヒトに感染します。

夏から秋にかけては蚊の活動時期のため、日本脳炎の感染予防対策をお願いします。

２　大分県と全国の日本脳炎患者発生件数（人）

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
大分県	0	1	0	0	0*2
全国（大分県を含む）	5	3	5	6*1	1*3

＊1　未確定値，*2 2024 年 9 月 4 日時点，*3 2024 年 8 月 25 日（速報値）

３　日本脳炎とは（感染経路及び症状）

・日本脳炎は、蚊（コガタアカイエカ）が媒介するウイルスによる感染症です。日本では西日本で多く、蚊の発生時期である夏から秋にかけて患者が発生します。
・感染しているブタを吸血した蚊がヒトを吸血することにより感染します。
・ヒトからヒトへの感染はなく、感染者を刺した蚊に刺されても感染することはありません。

潜伏期：６～１６日間
発病割合：１００～１，０００人に１人程度であり、大多数は不顕性感染（無症状）
典型的な症状：数日間の高熱、頭痛、悪心、おう吐、意識障害、けいれん発作など
※このような症状があれば早めに医療機関を受診してください。

４　感染予防の方法について

ウイルスを持つ蚊（コガタアカイエカ）の対策と予防接種があります。

コガタアカイエカは日没後に活動が活発になるといわれています。以下の点に注意して、蚊に刺されない工夫が必要です。

【 蚊の対策 】

・戸外へ出かける必要がある時は、できる限り長袖・長ズボンを身につけること。
・露出している皮膚へ虫よけスプレーなどを使用すること。
・蚊が屋内に侵入しないように網戸を使用し、夜間の窓や戸の開閉を少なくすること。
・水たまりをなくすなど蚊の発生が起こりにくい環境づくりに心がけること。

【 予防接種 】

日本脳炎ワクチンを接種することでリスクを 75～95％軽減することができると報告されています。定期の予防接種は各市町村が実施主体となっていますので、お住まいの市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。

※予防接種法に基づく日本脳炎の定期の予防接種は、第１期と第２期にあわせて計４回の接種を行います。

対象者			回数	接種間隔
第１期接種	第１期初回	生後６か月から生後９０か月に至るまでの間にある者（標準として３歳）	２回	６日以上（標準的には６日から２８日まで）
	第１期追加	生後６か月から生後９０か月に至るまでの間にある者（標準として４歳）	１回	初回接種終了から６月以上（標準的におおむね１年を経過した時期）
第２期接種	第２期	９歳以上１３歳未満の者（標準として９歳）	１回	

【問合せ先】
大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課
感染症対策班　　小野、和氣
電話:097-506-2665、2863